

令和2年度 第1回 国立大学法人鹿屋体育大学経営協議会議事要旨

1. 日 時：令和2年6月22日(月) 10時00分～11時16分
2. 場 所：鹿屋体育大学管理棟2階 大会議室（web 会議を同時開催）
3. 出席者：【学内委員】松下、森、前谷、原田の各委員
【学外委員】泉、岩切、上治、小館、中西、宮嶋の各委員
4. 列席者：緒方監事、山田附属図書館長、荻田学長補佐、濱田学長補佐、前阪学長補佐、事務局次長兼教務課長、学生課長、学術図書情報課長、総務課長、経営戦略課長、財務課長、施設課長、監査室長、四十周年記念事業推進室長

5. 内容

（質疑の○は学外委員の発言を、●は学内委員及び学内者の発言を示す。以下同じ。）

議事に先立ち、松下学長から4月1日に就任した前谷委員の紹介が行われた。

1) 前回議事要旨確認(資料1)

令和元年度第5回経営協議会議事要旨案について確定された。

2) 審議事項

(1) 令和3年度鹿屋体育大学概算要求について(資料2)

前谷委員から配付資料に基づき、令和3年度鹿屋体育大学概算要求について説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。

(2) 令和元事業年度に係る財務諸表等について(資料3)

前谷委員から配付資料に基づき、令和元事業年度に係る財務諸表等について説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。

(3) 平成31事業年度に係る業務の実績及び第3期中期目標期間（平成28～31事業年度）に係る業務の実績に関する報告書について(資料4)

前谷委員から配付資料に基づき、平成31事業年度に係る業務の実績及び第3期中期目標期間（平成28～31事業年度）に係る業務の実績に関する報告書について説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。
なお、今後軽微な修正等あった場合には、学長に一任することも併せて了承された。

(4) 国立大学法人鹿屋体育大学非常勤職員就業規則の一部改正について(資料5)

羽室総務課長から配付資料に基づき、国立大学法人鹿屋体育大学非常勤職員就業規則の一部改正について説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。

3) 報告事項

(1) 第3期中期目標期間の4年目終了時評価に係る研究業績説明書について(資料6)

森委員から配付資料に基づき、第3期中期目標期間の4年目終了時評価に係る研究業績説明書について報告があった。

(2) 令和2年度在籍学生数について(資料7)

有馬次長から配付資料に基づき、令和2年度在籍学生数について報告があった。

(3) 令和元年度卒業・修了者の進路状況について(資料8)

有馬次長から配付資料に基づき、令和元年度卒業・修了者の進路状況について報告があった。

(4) 令和2年度重点プロジェクト事業経費について(資料9)

永松経営戦略課長から配付資料に基づき、令和2年度重点プロジェクト事業経費について報告があった。

4) 学内外の諸情勢について

(1) 新型コロナウイルス感染症に関する本学の対応について(資料10)

松下学長から配付資料に基づき、新型コロナウイルス感染症に関する本学の対応について説明があった。

(2) 本学関係者の活躍について(資料11)

濱田学長補佐から配付資料に基づき、本学関係者の活躍について説明があった。

(3) 開学四十周年記念事業について(資料12)

永吉四十周年記念事業推進室長から配付資料に基づき、開学四十周年記念事業について説明があった。

5) その他

(1) 令和2年度の経営協議会開催日程について(資料13)

羽室総務課長から配付資料に基づき、令和2年度の経営協議会開催日程について説明があった。

(2) 学長からの依頼について

松下学長から、大学への進学率が減少傾向にある中で、文部科学省から第4期中期目標・中期計画に向けて大学の特性を検討するとともに、適正規模についても検討するよう求められていることから、後日、関係資料を送付するので、本学の適正規模等について意見を頂きたい旨の発言があった。

(3) 意見交換

時間まで意見交換がなされた。内容は以下のとおり。

○本年開催予定であった鹿児島国体については延期することとなったが、新たな開催時期については、今後スポーツ庁を含め、関係各所で調整をしていく予定である。

○現在、留学生は9名在籍しているが、将来何名受け入れる予定などあるのか。また、新入生への部活動の勧誘はもう始めているのか。

●留学生を増やすために、具体的な数値目標は立てていないが、海外大学との学生交流を進めている。昨年は中国の天津体育学院と学生交流に関する覚書を結んだ。

●新入生を含め、部活動は3密を避けながら行っている。格技については、先週から短時間ではあるが練習を開始している。

○鹿児島国体については、スポーツ協会をはじめ関係の皆様の御協力に感謝する。本県としては、できるだけ早い時期の開催を願うものであるが、今後の調整であり、引き続き皆様方の御協力をお願いする。

○JKAから女性アスリートの研究費助成が出されている。今年もまもなく公表されるので、積極的に利用してほしい。

●昨年には、上治委員からも同様の情報をいただき、学内に周知しているが、なかなか申請まで行われていない状況である。今後、組織として対応していきたい。

○同窓会との連携を進めていただきたい。鹿屋で学んだことをどう生かして社会で活躍しているのかは受験生や保護者にとっては大きな関心事である。他大学は同窓会の活動が活発である。卒業後の活躍データがあれば提供していただきたい。

●貴重なご意見ありがとうございます。

(4) 8月末日をもって任期満了・退任となる緒方監事から退任の挨拶があった。

以上